

公 告

このたび青森市の地区を受益地とする油川地区経営体育成基盤整備事業を青森県営土地改良事業として施行すべきことを申請したいから、土地改良法（昭和24年法律第195号）第85条第2項の規定により、下記の書類とともにこの旨を公告する。

なお、この受益地区内にある農用地の所有者で、その農用地について耕作若しくは養畜の業務を営まない者又はこの地域内にある農用地以外の土地で所有権以外の権原に基づいて使用収益している者で、その農用地又はその他の土地について、この県営土地改良事業に参加しようとする者は、土地改良法第3条の規定により、令和8年3月16日までに青森市農業委員会に申し出られたい。

また、当該県営土地改良事業の施行に係る地域内の農地につき、この事業の工事の完了の公告の日（その公告において工事の完了の日が示されたときは、その示された日）の属する年度の翌年度の初日から起算して8年を経過しない間に農地以外に転用されたことに伴い、この事業につき地元分担金以外の事業費のうち当該転用農地に係るものを返還する場合には当該転用農地につき土地改良法第3条に規定する資格を有する者から特別徴収金を徴収する。

令和8年3月6日

申請人

氏名 池田 優

氏名 農事組合法人 羽白開発
代表理事 福士 博人

氏名 今 誠

記

1 掲示書類

- (1) 土地改良事業計画概要書
- (2) 予定管理方法等を記載した書面
- (3) 事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準を記載した書面
- (4) 受益地域を記載した書面

2 掲示場所

青森市掲示場及び青森県庁ウェブサイト

(https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kanri_01.html)



土地改良事業計画概要書

経営体育成基盤整備事業

県名：青森県
地区名：油川
所在地：青森市
事業主体：青森県

目 次

第1章	目 的	-----	1
	第1節	-----	1
	第2節	-----	1
第2章	地域の所在及び現況	-----	1
	第1節	-----	1
	第2節	-----	1
	第3節	-----	1
	第4節	-----	2
	第5節	-----	2
	第6節	-----	2
	第7節	-----	2
第3章	基本計画	-----	2
	第1節	-----	2
	第2節	-----	2
	第3節	-----	3
	第4節	-----	3
	第5節	-----	3
	第6節	-----	3
	第7節	-----	3
	第8節	-----	3
	第9節	-----	3
	第10節	-----	3
第4章	工事又は管理の要領	-----	4
	第1節	-----	4
	第2節	-----	4
	第3節	-----	4
第5章	換地計画の要領	-----	4
	第1節	-----	4
	第2節	-----	4
	第3節	-----	5
		-----	5
第6章	費用の概算	-----	5
第7章	効 用	-----	5
第8章	他の事業との関係	-----	5
第9章	計画概要図	-----	5

第1章 目 的

第1節 目 的

本地区は、青森県青森市に位置し、二級河川新城川左岸に展開する農業地帯であり、水稻を中心とした営農が行われている。

地区内では、ほ場が未整備であり、農道も狭小で一部にしかないことにより作業効率が低く、水路も用排兼用の土水路で維持管理に多大な労力を要しているほか、農業従事者の高齢化や後継者不足といった課題にも直面している。

このため、本事業により区画整理による大区画化や農道、用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第2節 地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	田	畑	山林 原野	その他	小計	法第5条6 項の土地	法第5条7 項の土地	合 計	備 考
青 森 市	47.3	-	-	-	47.3	6.9	0.6	54.8	
計	47.3	-	-	-	47.3	6.9	0.6	54.8	

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在及び地形

1. 所 在

本地区は、青森市北部に位置し、二級河川新城川水系新城川沿いに広がる水田地帯である。

2. 地 形

本地区は、地区西側から東側に1/306程度の勾配で傾斜を有し、標高は2.5～5.3mである。

第2節 土質及び土壌

本地区の土壌は、灰褐色土壌壤土型、強グライ土壌砂土還元型、強グライ土壌強粘土還元型の3つのタイプである。

第3節 気 象

1. 一般気象

観測所名	青森 地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H27年～R6年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		20.3	5.2	11.5	
降水量	平均 (mm)	558	815	1,373	
	基準年 (mm)	351	1,083	1,434	基準年 平成16年
降水日数	平均 (日)	44	113	157	
	基準年 (日)	36	139	175	基準年 平成16年
根 雪 期 間		12月15日～3月11日		88 日間	
無 霜 期 間		5月5日～10月25日		175 日間	
最 多 風 向	SW	最大風速 (風向)	19 m/s (SW)	最多風向発生時期 3月～12月 最大風速発生年月日 令和3年1月7日	

2. 特殊気象

観測所名 青森地方気象台

観測期間	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日
S1年～R5年	208mm	H19.11.12	188mm	S10.8.22	153mm	S52.8.5	146mm	R4.8.9	140mm	H11.10.28
最大連続 雨 量	342mm	S10.8.21 ～ S10.8.26	333mm	S21.11.27 ～ S21.12.31	297mm	H19.11.11 ～ H19.11.24	296mm	R4.8.9 ～ R4.8.12	293mm	S22.11.22 ～ S22.12.25
最大連続 干天日数	52日	S3.7.17 ～ S3.9.6	41日	S18.6.19 ～ S18.7.29	38日	S54.5.1 ～ S54.6.7	36日	S21.7.18 ～ S21.8.22	36日	S48.6.24 ～ S48.7.29

第4節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水は、二級河川新城川水系新城川を水源としている。また、地区内の水路は用排兼用の土水路で、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

2. 排水状況

本地区の排水は、二級河川新城川水系新城川及び既設排水路に直接排水されている。地区内の排水路のほとんどが用排兼用の土水路であり維持管理に多大な労力を費やしている。

第5節 道路状況

本地区の農道は、未舗装で幅員が狭いため、営農機械等の搬出入や車両のすれ違いに支障を来している。

第6節 営農状況

本地区は稲作中心の農業形態である。

第7節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第3章 基本計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

ほ場の大区画化、農業用排水路、農道等の農業生産基盤整備を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の拡大を図り、これと併せて土地所有の集団化、地域の担い手農家への農地の集積・集約化を促進する。

なお、事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動または移植し、保護する。

2. 事業別面積

(単位：ha)

土地利用 区分	水田	畑						計	備 考
		普通畑	果樹園	牧草地	茶園	その他	小計		
区画整理	44.9	0.5	-	-	-	-	0.5	45.4	
計	44.9	0.5	-	-	-	-	0.5	45.4	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、水稻に野菜を組み合わせた複合経営方式による農業経営の安定化を図る。また、担い手への農地の集積・集約化を促進し、機械の大型化により作業効率を向上させ、高効率で生産性の高い農業経営を確立する。

2. 土地利用区分

(単位：ha)

土地利用 区分	水田	畑					小計	道路	水路	その他	計	備 考
		普通畑	果樹園	牧草地	茶園	その他						
現 況	47.3	-	-	-	-	-	47.3	3.4	3.2	0.9	54.8	
計 画	44.9	0.5	-	-	-	-	45.4	7.3	1.5	0.6	54.8	

3. 作付計画
- | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|----|
| 田 | : 水稻、飼料用米、酒造好適米、輸出用米 | A= | 42.5 | ha |
| 輪換畑 | : キャベツ、レタス、ブロッコリー | A= | 1.5 | ha |
| 普通畑 | : トマト | A= | 0.5 | ha |

第3節 用水計画

1. 計画基準年 平成16年
2. かんがい方式
水田：湛水かんがい方式 かんがい期間 5月10日～9月10日（代掻期間 5月10日～5月20日）
3. 計画用水量
代掻期 純用水量 0.173m³/s 粗用水量 0.203m³/s
普通期 純用水量 0.122m³/s 粗用水量 0.144m³/s
4. 水源計画
新城川水系新城川（二級指定河川）を水源とする。

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量
114.1mm/day（1/10確率雨量）
2. 計画排水方式
本地区の排水は、二級河川新城川水系新城川及び既設排水路へ自然排水している。
3. 流域面積
平地 0.5km² 計 0.5km²
4. 計画排水量
0.430m³/s（1/10確率排水量）

第5節 道路計画

支線道路Ⅰ型は全幅員5.0m、有効幅員4.0mの砂利舗装、支線道路Ⅱ型は全幅員4.0m、有効幅員3.0mの砂利舗装とする。

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調節計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

区画の形状

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (m)	備考
標準区100×100	1.0以上	19.5	43.4	0.5以下	
標準区100×50	1.0以上	25.1	55.9	2.0以下	
端田区20×10	0.2未満	0.3	0.7	2.0以下	
計		44.9	100.0		

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

第4章 工事又は管理の要領

第1節 主要工事計画

区画整理工 A= 45.4 ha

第2節 工事の施行方法

1. 工事は、原則として請負施工で行う。
2. 工事着手及び完了の予定時期
 令和8年度 着手
 令和14年度 完了予定

第3節 工事完了後の施設の管理

本事業で造成された施設については、青森市が管理する。

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

従前地の区画形状の変更、道水路の改廃・新設及び農用地の集団化による従前地権利の変動等により換地計画樹立の必要がある。

第2節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地にあつては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積（ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があつた場合は、その申出のあつた地積とする。）とし、これ以外の土地にあつては、事業主体の行う実測による地積とする。

2. 農用地集団化の方法

区分 換地区名	地帯別・グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全工区	なし	換地は各人の土地が最も密集した位置を中心に土地利用条件等を考慮して定める。	概ね1～2団地	固定畦畔

3. 非農用地換地の方法

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	その他
全工区	原野	概ね従前どおり	2,427	特定用途用地換地	
	雑種地	概ね従前どおり	3,732		

4. 清算の方式 比例地積清算方式

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位：ha)

用途	公 用 公 共 用 地				一般国有地	合 計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
道 路	-	-	3.3	3.3	-	3.3
水 路	0.1	-	3.1	3.2	-	3.2
水道用地	-	-	0.3	0.3	-	0.3
河 川	0.1	-	-	0.1	-	0.1
計	0.2	-	6.7	6.9	-	6.9

第6章 費用の概算

事業費： 1,529,850 千円

工事関係費： 1,457,000 千円

事務的経費： 72,850 千円

(但し、事業費は物価の変動等により増減の生ずることもある。)

第7章 効 用

(単位：千円)

区 分	項 目	年総効果(便益)額	年総増加農業所得額	備 考
作物生産効果		22,638	8,826	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果		63,087	70,813	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果		6,239	19,538	食料の安定供給の確保に関する効果
耕作放棄防止効果		5	-	農業の持続的発展に関する効果
地積確定効果		14	-	農村の振興に関する効果
国産農産物安定供給効果		6,831	-	その他の効果
計		98,814	99,177	令和7年度単価

< 参 考 >

総 費 用 : 1,453,456 千円

総 便 益 額 : 1,776,663 千円

総費用総便益比 : $1,776,663 \div 1,453,456 = 1.22$

第8章 他の事業との関係

該当なし

第9章 計画概要図

別紙添付図面のとおり

令和8年度新規採択希望 経営体育成基盤整備事業

青森県 油川地区 位置図

縮尺 1 : 25,000

県内位置図

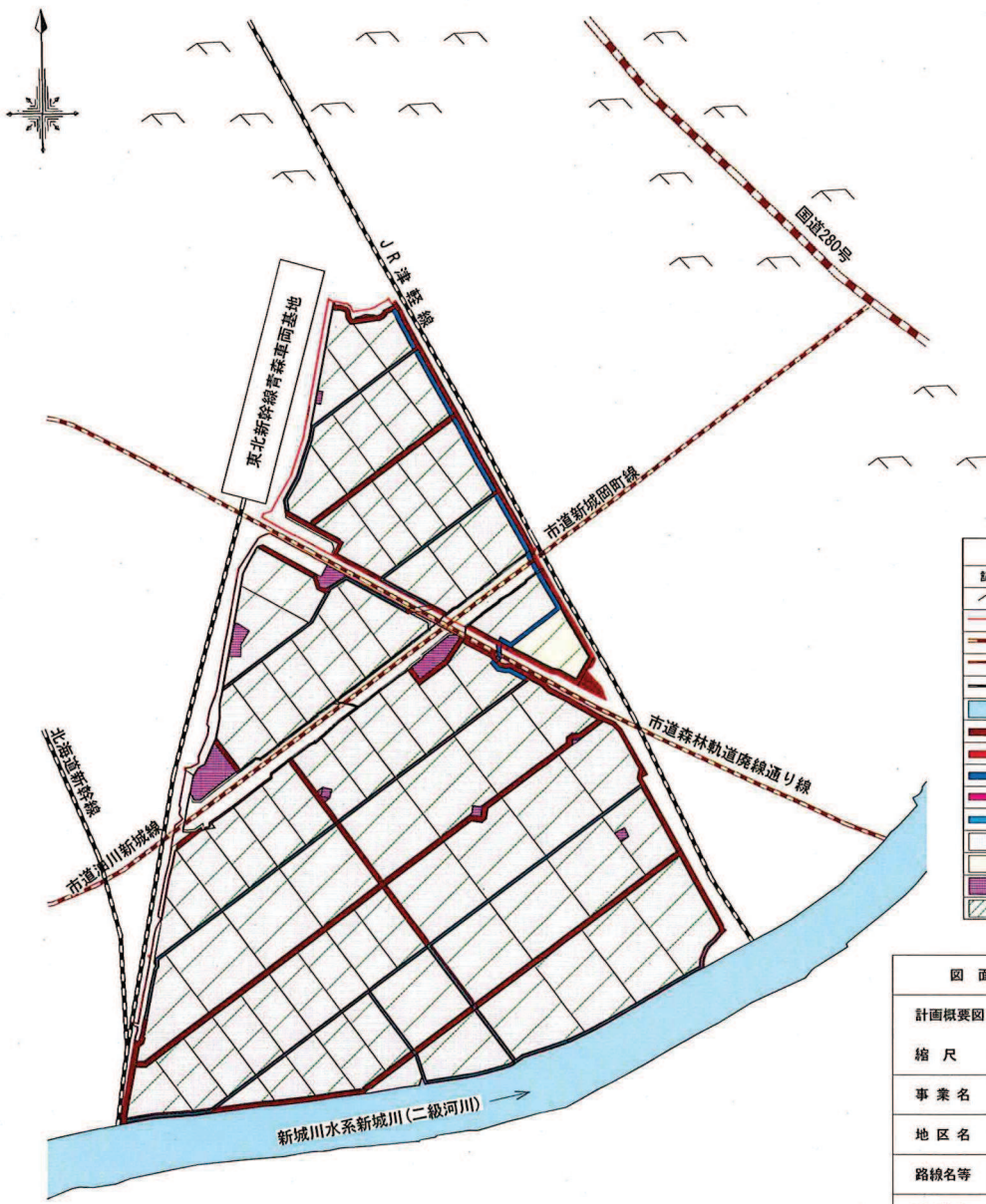


凡例	
色別	項目
	受益地

図面の名称	図面番号
位置図	1
縮尺	1:25000
事業名	油川地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	青森県油川地区ほか
路線名等	
年月名	平成25年度(第15号)

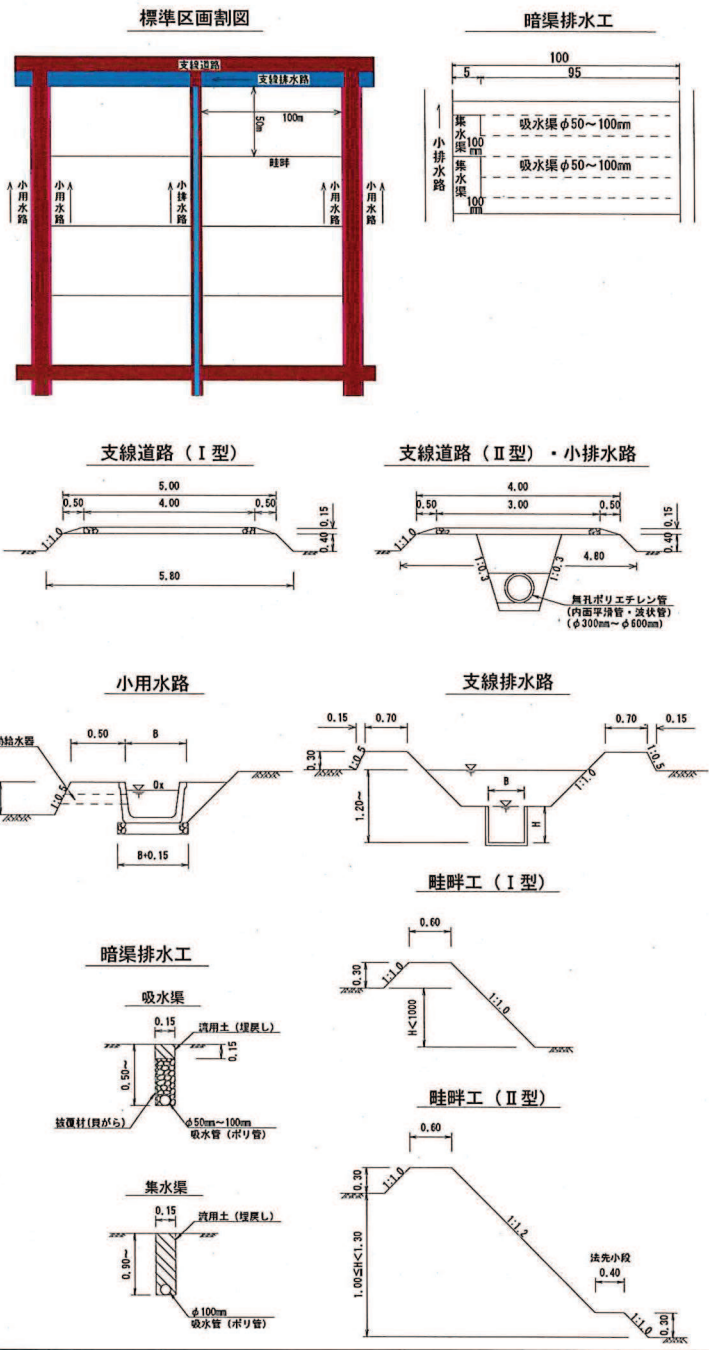
青森県農業農村政策課

油川地区 計画概要図



凡 例	
記号	事項
〽	集 落
—	地区界
—	国 道
—	市 道
—	J R 線 路
—	河 川
—	支線道路
—	支線用水路
—	支線排水路
—	小用水路
—	小排水路
—	水 田
—	畑
—	雑 種 地
—	暗渠排水

図面の名称	図面番号
計画概要図	2
縮 尺	S=1:10000
事業名	油川地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	青森市油川地区ほか
路線名等	
業務名	東県局農水(整委)第15号
青森県東青農林水産事務所	



予定管理方法等を記載した書面

経営体育成基盤整備事業

県名：青森県
地区名：油川
所在地：青森市
事業主体：青森県

県営油川地区経営体育成基盤整備事業によって造成された施設の予定管理方法

1. 管 理 者

本事業によって造成される施設は、青森市が管理する。

2. 管理すべき施設の種類

○道路工 L = 7,644 m (砂利舗装)

I型L = 4,893 m

II型L = 2,751 m

○用水路工 L = 6,529 m

支線用水路L = 821 m

小用水路L = 5,708 m

○排水路工 L = 3,998 m

支線排水路L = 649 m

小排水路L = 3,349 m

3. 管理に要する費用の概算及び負担の方法

(1) 概算の費用

861千円/年

(2) 負担の方法

青森市が負担する。

事業費の負担区分の予定及び 地元負担の予定基準を記載した書面

経営体育成基盤整備事業

県名：青森県
地区名：油川
所在地：青森市
事業主体：青森県

事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準を記載した書面

1. 事業費の負担区分

区 分		事 業 費	負 担 予 定			
			国	県	市町村	受益者
工 事 費	負担予定率(%)	100	55.0	27.5	10.0	7.5
	負担予定額(千円)	1,457,000	801,350	400,675	145,700	109,275
事務的経費	負担予定率(%)	100	-	100.0	-	-
	負担予定額(千円)	72,850	-	72,850	-	-
合 計	負担予定額(千円)	1,529,850	801,350	473,525	145,700	109,275

2. 地元負担金の負担方法

(1) 市町村負担金の負担方法

市町村負担金は、土地改良法第91条第6項の規定に基づき青森市が負担する。

(2) 受益者負担金の負担方法

受益者負担分については、土地改良法第91条第2項の規定により、青森市が負担し、青森市は同条第3項の規定に基づき、青森市土地改良事業負担金等徴収条例により受益者から徴収する。

受益地域を記載した書面

経営体育成基盤整備事業

県名：青森県
地区名：油川
所在地：青森市
事業主体：青森県

